

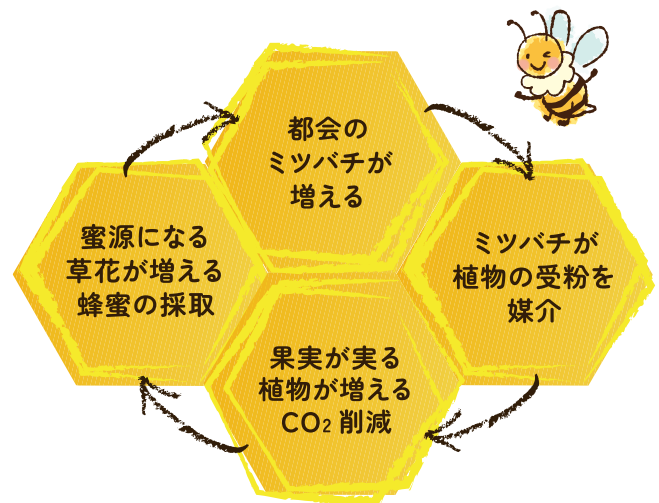


## 都会と自然の共存 都市養蜂とは？

都市養蜂とは、都市部のビルの屋上や遊休地に巣箱を設置し、ミツバチの飼育と蜂蜜の採取を行う。それによって都市の緑化や生物の多様性を守ることにつながるだけでなく、都市部で暮らす人々と自然、地域との触れ合いやつながりを生む役割を果たしています。街の緑化や活性化、地産地消への取り組み...さまざまな社会課題を解決する方法として、都市養蜂は世界の都市で広がっています。

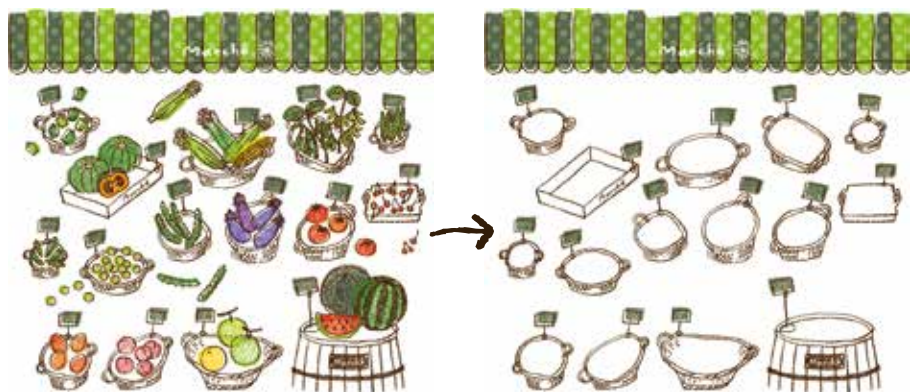
### 都市養蜂によるSDGs活動

ミツバチが飛び交うことで、植物が生き生きと育ちます。その植物が二酸化炭素を吸収、酸素を生み出すという連鎖につながります。生態系の循環が構築され、都会でも生き物のつながりを持続できる大切な役割を担ってくれます。



もし、地球から  
ミツバチがいなくなったら...

私たちの毎日の食事に欠かせない野菜や果物の多くは、ミツバチの授粉のおかげで実ります。「世界の食料の9割を占める100種類の作物種のうち、7割はハチが授粉を媒介している」(2011年・国連環境計画報告書)と言われるように、ミツバチは生態系だけではなく、人間にとっても重要な存在です。



世界の主要な食糧の70%の授粉をミツバチが媒介

ミツバチがいなくて様々な食糧が食べられなくなる!?